

令和6年度 家庭教育専門委員会研修会

実施期日：令和6年11月5日（火）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

後 援：（一財）埼玉県高等学校安全振興会

目 次

次第	・・・・・・・・ 2 ページ
----	----------------

発表校資料

(1) 埼玉県立草加南高等学校 P T A	・・・・・・・・ 3 ページ
(2) 埼玉県立川越南高等学校 P T A	・・・・・・・・ 7 ページ
(3) 埼玉県立上尾南高等学校 P T A	・・・・・・・・ 11 ページ
(4) 埼玉県立鴻巣高等学校 P T A	・・・・・・・・ 15 ページ

連絡事項	事務局より	・・・・・・・・ 19 ページ
------	-------	-----------------

**令和6年度埼玉県高等学校PTA連合会
家庭教育専門委員会研修会 次 第**

日時 令和6年11月5日(火)

場所 埼玉会館 小ホール

受付 12:30～13:00
【司会・進行】 埼玉県立鴻巣女子高等学校PTA会長 飯田 英昭

1 開会のことば(13:00)
埼玉県立久喜北陽高等学校PTA副会長 立野 リサ

2 開会行事(13:05～13:15)
(1) 委員長あいさつ 埼玉県立坂戸西高等学校PTA会長 奥田 典代
(2) 講評者紹介 (司 会)
(3) 発表者・校長の紹介(司 会)

4 研究協議(13:15～14:45)
(1) 実践発表(各校20分)
東部支部 埼玉県立草加南高等学校PTA会長 森本 智美
【子供と保護者の学校生活についての認識から考える家庭教育とPTAの役割】

西部支部 埼玉県立川越南高等学校PTA副会長 白井 ひろみ
【家庭教育とPTA】

南部支部 埼玉県立上尾南高等学校PTA会長 寺脇 章乃
【家庭教育とPTA】

北部支部 埼玉県立鴻巣高等学校PTA会長 佐藤 寿子
【鴻巣高校の家庭教育とPTA】

(2) 質疑応答

(3) 講 評(14:50)
埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課
社会教育主事兼指導主事 加藤 隆 様

5 情報提供 埼玉県高等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆

6 閉会のことば(15:20)
埼玉県立上尾南高等学校PTA副会長 居城 由貴

家庭教育とPTA

子供と保護者の学校生活についての認識から考える

家庭教育とPTAの役割

埼玉県立草加南高等学校

PTA会長 森本 智美

1 はじめに

(1) 沿革

埼玉県立草加南高等学校は、来年度50周年を迎えます。昭和40年代、50年代と草加市は公団住宅・工場等の建設により、人口の増加が著しく、また、高校への進学率も増加の一途をたどっていた時期です。昭和46年、地元の強い要望によって新設高校誘致の機運が高まり、昭和49年12月から県議会に対し陳情が行われました。地元の県議会議員、草加市関係など多くの方々の御協力と県議会及び県当局の御配慮により開設の決定がなされました。

約3万5千平方メートルの敷地と仮校舎の建設にあたっては、地元草加市の高校教育に対する並々ならぬ努力と熱意によってかないました。

昭和52年に第1回入学式を挙行し、草加南高等学校が本格的に始動しました。現在までに多くの卒業生を送り出し、卒業生は社会の様々な分野で活躍をしています。

平成10年には、外国語科は設置され、海外語学研修やColor Dayの実施をはじめとしたグローバル教育に力を入れています。

(2) 概要

本校は、普通科と外国語科を併置した全日制の高校です。

グローバルな視点をもって社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

部活動は、運動部活動と文化部活動を合わせて25の部活動が盛んに活動しています。陸上部は棒高跳び等で関東大会やジュニアオリンピックに出場しました。また、女子バスケットボール部は昨年度、関東大会第3位と活躍しました。グローバル教育では、海外の学校との交流、国内外語学研修、Color Dayや模擬国連の実施(外国語科)など様々な取組を行っています。海外の学校との交流では、中国の学校の訪問を受け入れ、子供達はお互いの国の文化や学校について説明しながら交流をしていました(令和5年度)。また、今年度から、新型コロナ



【校訓】寛容 忍耐 高翔

【課程】全日制 普通科・外国語科

【生徒数】861人 (R6.5.1現在)

【学級数】各学年 普通科6クラス (今年度の3年生のみ7クラス)
外国語科1クラス

ウイルス感染症の拡大の影響を受けて実施を見合わせていた海外語学研修を再開しました。ホームステイで日本の料理を作ってホストファミリーに振る舞ったり、現地校の生徒と日豪の文化の違いや共通点についての話し合いをとおして、異文化への理解を深めていました。渡豪に先立ち、オンラインでブータンの学校と交流し、子供たちにとってはあまり馴染みのないブータンの生徒との交流は、視野を広げるよい機会となったようです。



中国の生徒達との交流の様子



海外語学研修（オーストラリア）

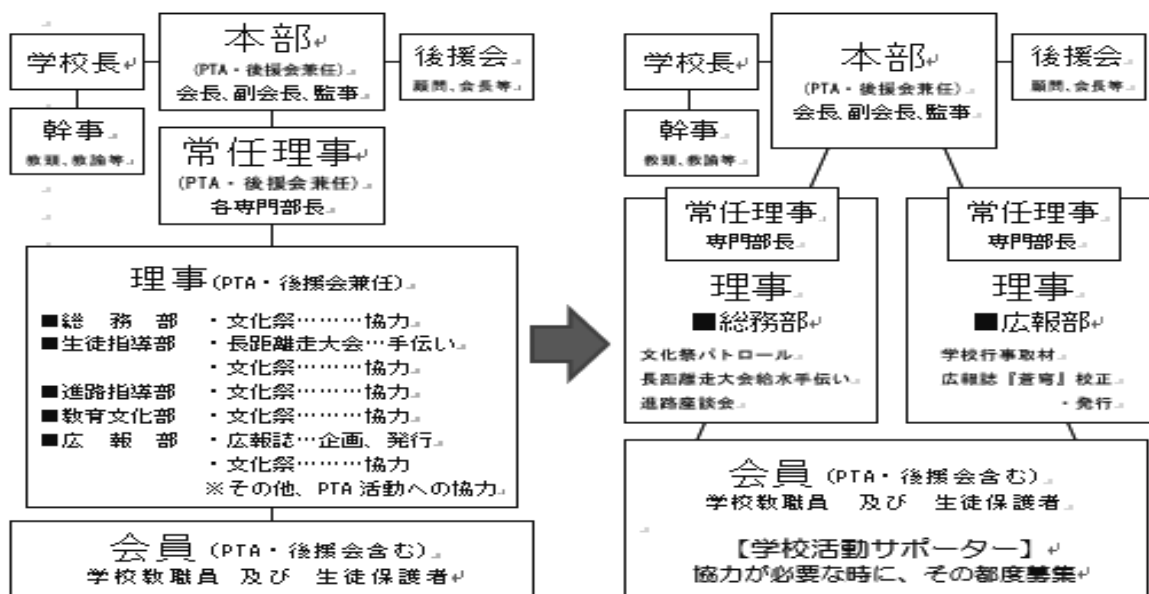
2 PTA活動

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、様々な活動が実施することができませんでした。これを機に、令和5年度に組織改編と活動内容の精選を行いました。

(1) 組織の改編

【組織の改編】

専門部を統合し、組織全体のスリム化を図りました。



※新設【学校活動サポーター】

希望者にサポーターに登録してもらい、協力が必要な場合は、その都度募集することとしました。令和5年度から令和6年度にかけては移行期間で、サポーターの登録はありますが、実際にはまだ稼働していません。

(2) 活動内容の精査

【見直した活動】

- ・進路見学会の廃止
- ・バスツアー研修会の廃止
- ・学校行事におけるPTA活動の削減

【現在の主な活動内容】

新旧理事会、理事会（3回）
定期総会、文化祭警備協力
長距離走大会協力、新理事選出

活動内容を精査し、スリム化することによって理事及び役員の負担軽減を図りました。活動を精査するにあたり、単純に活動自体を削減するのではなく、活動内容によっては拡充したものもあります。例えば、長距離走大会への協力では、給水所の補助作業を主な内容としていましたが、万が一の事態に備えて、教職員のAED講習に参加してAEDの使い方を訓練しました。参加者から、「今回は長距離走大会に備えて参加したが、このAED講習で学んだことは日常生活でも役に立つ。子供達もAEDの使い方を学校で学んだと聞いている。親子でこのことを共有していきたい。」という感想が寄せられました。この講習が、命の大切さを家庭でも考えるきっかけとなったと考えています。また、教職員と一緒に講習に参加することによって、教職員と保護者とのコミュニケーションを図るよい機会となりました。



AED講習の様子

3 家庭教育とPTA

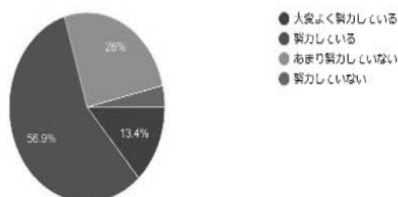
(1) 子供と保護者の学校生活についての認識

昨年度、子供と保護者を対象としたアンケート実施し、学校生活について子供と保護者の認識について考察しました。

【子供と保護者の学校生活についての認識】

○子供

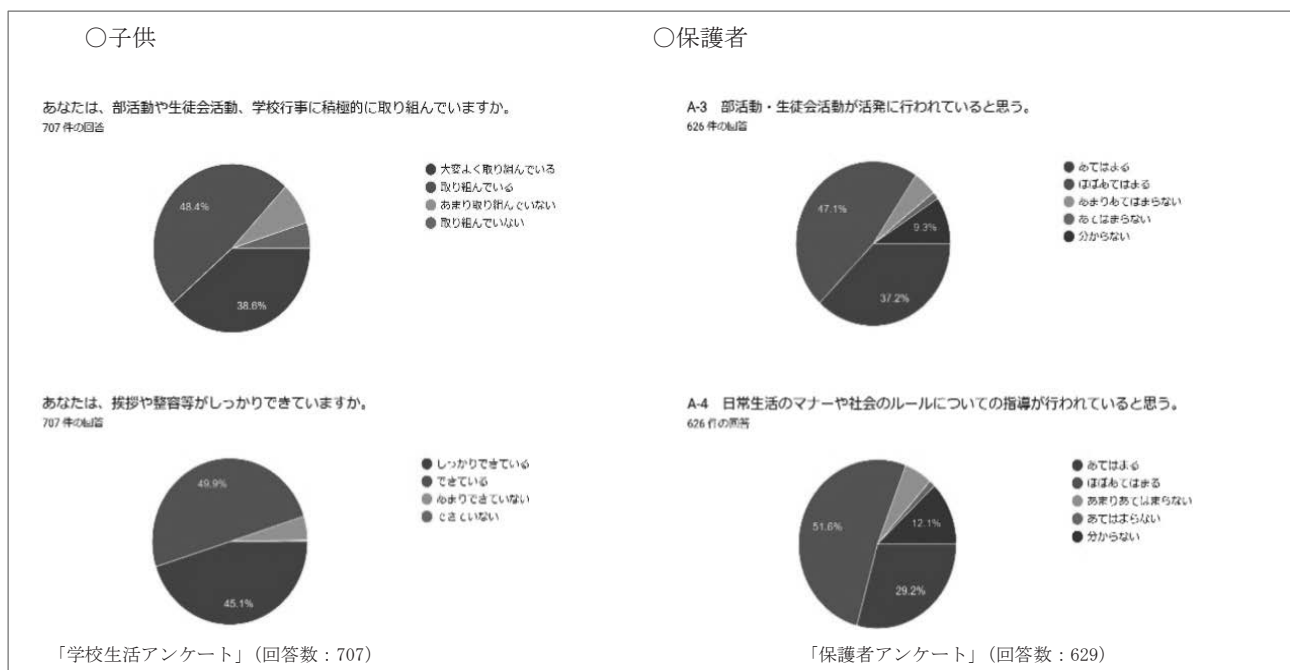
あなたは、高い目標を持ち、将来の夢や希望を実現するために努力していますか。
707名の回答



○保護者

A-1 上記の「目指す学校像」「重点目標」は、保護者の期待に応えるものとなっていると思う。
626件の回答





アンケート結果を見ると、それぞれの質問に対して、両者の認識に大きな乖離がないことが分かります。このことから、子供と保護者との共通認識のもと、学校生活に臨んでいるということがいえるのではないのでしょうか。また、子供達は、「高い目標を持ち、将来の夢や希望を実現するために努力をしているか」という質問に対して、およそ70%の子供が努力をしていると回答しています。これに対し、多くの保護者は、学校が目指す学校像や重点目標が保護者の期待に応えるものだと認識しています。子供達の将来に向けた自己実現のための努力を学校の教育活動が導いていき、保護者は家庭でそれを支えるという構造が実現するのならば、子供達の学校生活は充実したものとなるはずです。

(2) P T Aの役割

以上の考察を踏まえて、P T A活動では何をすべきなのでしょう。「高校生と保護者の進路に対する意識調査 2023」(リクルート『キャリアガイダンス』調べ)では、「働く意義について教える」、「将来の目標をもたせる」ことを家庭の役割と認識している保護者が多いとしています。保護者は子供達の最も身近にいる社会人です。子供達に社会人としての在り方を示していく必要があるでしょう。そのためにも、P T A活動では、学校と連携・協働しながら学校の様子や進路の情報等について会員に発信していきたいと思います。

4 おわりに

新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、本校のP T Aは組織の改編、活動内容の精選をしてきました。単純に組織や活動内容をスリム化するのではなく、質を担保しながら負担を軽減するためにはどうしたらよいか考えながら試行錯誤しています。子供達が充実した学校生活を送るためには、保護者と学校との連携・協働が不可欠です。私達P T Aは、今後も子供達のために学校と連携・協働しながら、子供達の教育活動を支えていきたいと思っています。

家庭教育と PTA



埼玉県立川越南高等学校

PTA 会長 山口 陽子

1. 学校概要

本校は昭和50年4月、地元川越市をはじめ地域の皆様の熱い期待を担って、全日制普通科の高等学校として開校しました。以来半世紀にわたり、生徒一人一人を大切に、時代の変化に伴う様々な課題を克服しながら、教育内容の充実・改善及び施設設備の拡充、整備を図るとともに、地域に根ざした学校づくりに取り組み、着実にその成果を上げてきました。また、これまでに17,900余名に及ぶ卒業生を社会に送り出し、多くの優れた人材が各方面において活躍しています。

本校は、目指す学校像を「文武両道を実現し、新しい時代に活躍する自立した社会人を育成する学校」とし教育活動を展開しています。特に進路指導においては、確かな学力向上を第一に、国公立大学や難関私立大学への進学など、生徒の希望する進路を着実に実現させています。また、部活動においては、弓道部、放送部、書道部、美術部が全国大会に、陸上部が関東大会に出場するなど、運動部・文化部ともに、生徒が主体となった活発で健全な部活動を行っており、数々の実績を上げています。

今年度は創立50周年を迎え、10月2日に記念式典を挙行了しました。今後も文武両道の進学校として、心身ともに健康で自主的精神に充ちた、人間性豊かな生徒の育成に取り組む学校として、さらに発展していくことをPTA・後援会として期待しています。

(1) 教育目標

教育基本法、学校教育法の精神に則り、知性と教養を高め、勤労と責任を重んじ、心身ともに健康で自主的精神に充ちた人間性豊かな若者の育成に努める。

(2) 目指す学校像

- 文武両道を実現し、新しい時代に活躍する自立した社会人を育成する学校
- ・進路を見据えて実力をつける学習活動
- ・多様な他者と協働、主体性を磨く学校行事
- ・自主的、実践的に取り組む部活動

(3) 3年間で身に付けさせたい8つの力

- ① 自己肯定力（主体性）
- ② 確かな学力（基本的・基礎的な知識・技能）
- ③ 論理的思考力
- ④ 傾聴力（情報収集能力）
- ⑤ 分析力
- ⑥ 問題解決能力
- ⑦ 発信・表現力
- ⑧ コミュニケーション能力（共感・批判する力）

(4) 進路指導

本校では3年間を見通した上で、段階を踏んで計画的、組織的に進路指導を行っています。大学などへの進学希望者がほとんどですが、生徒の夢や希望、個性と適性を十分に考慮して指導しています。1年次から生徒に自分の将来を考えさせ、進路意識を喚起させ、その実現のために充実した授業と活発な進学補講で（毎年20講座以上開講されています）、きめ細かな指導を行い、学力の向上に努めています。

(5) 国際交流

本校はA L Tのベーススクールとなっており、授業だけでなく様々な国際交流事業を通して、語学力の向上や、国際理解を深められる体制をとっています。交換ホームステイでは、南オーストラリア州アデレード市にあるキャブラ・ドミニカン・カレッジと姉妹校提携を結んでおり、短期ホームステイプログラム（隔年実施）を行っています。また、第2学年のL H Rでは、外国人留学生との交流を実施し、県内の大学に在籍する外国人の留学生ら（韓国、中国、台湾、ベトナム、タイ、シンガポールなど）を本校に招き文化交流を行っています。生徒の感想の中には「この国の人はこうだと決めつけてはいけない」「国ごとに特色があり、人間性や価値観なども違っていて驚いた」など、素晴らしい体験ができたというものが多く見られます

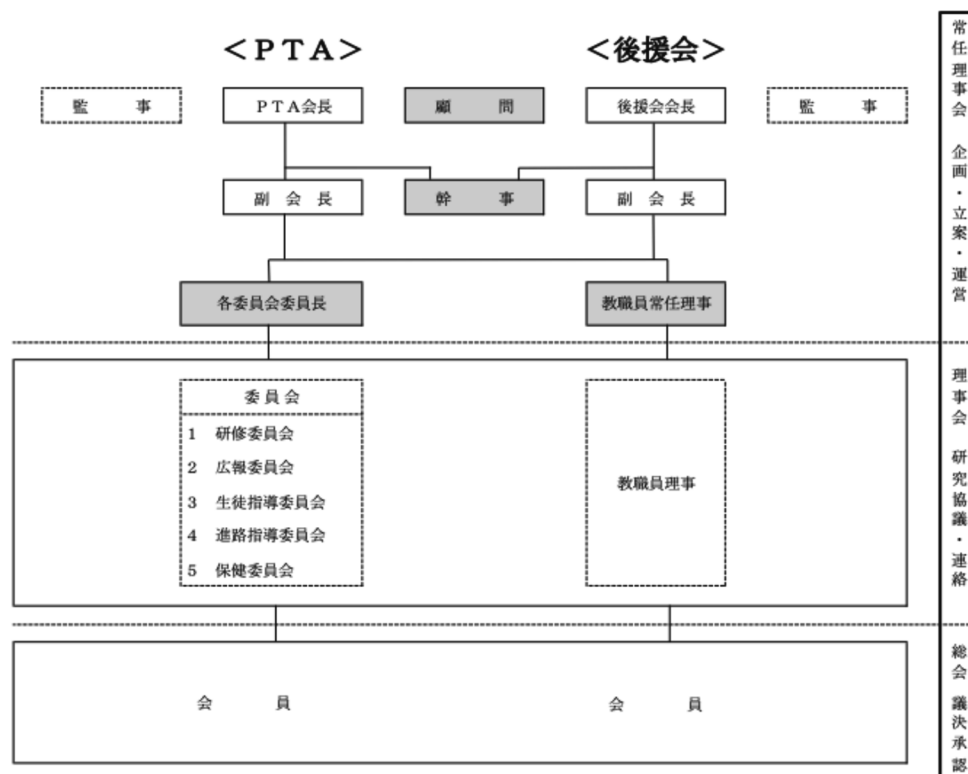
(6) 部活動

部活動については、21の運動部、13の文化部、1つの同好会で、県立高校の中では部数の多い学校となっています。加入率は91.3%で、運動部、文化部ともに大変活発で、とても賑やかな活動になっています。

2. P T A活動

本校のP T Aは、『できる人が、できるときに、できることを』を活動理念に、保護者と教職員とが協力して生徒の幸福と円満な成長および本校教育の充実振興をはかることを目的に、様々な学校行事等において、活動を行っています。

(1) 組織



(2) 各委員会等の活動内容

- ・ PTA 本部：理事会の運営・司会進行、高 P 連関連行事・研修等参加、学校行事への参加・手伝い
- ・ 監事：PTA・後援会の会計監査・監査報告、理事会参加
- ・ 研修委員会：会員研修の企画・開催、理事会・高 P 連専門委員会参加
- ・ 広報委員会：広報誌発行、学校行事の撮影・写真選定、理事会参加
- ・ 生徒指導委員会：当校時の安全指導、理事会・高 P 連専門委員会参加
- ・ 進路指導委員会：進路講演会・大学視察会の企画・開催、理事会・高 P 連専門委員会への参加
- ・ 保健委員会：長距離走大会補助、保健講演会企画・開催、理事会・高 P 連専門委員会への参加

(3) 教育活動とPTAの関わり

- ・ 常任理事会・理事会
- ・ 研修旅行
- ・ 進路講演会
- ・ 大学視察会
- ・ 長距離走大会
- ・ 保健講演会
- ・ 体育祭
- ・ 藤華祭（文化祭）
- ・ 50周年記念式典
- ・ 評価懇話会



<R6 年度 会員研修旅行>

3. 家庭教育とPTA

令和5年10月18日に、九州大学大学院農学研究院助教の佐藤剛史様をお招きし、「食卓のカー子どもの心もはぐくむ食ー」をテーマにした講演会をZOOMで開催しました。

講演は、全校生徒と保護者を対象に実施したため、「命」や「共に過ごす時間」の大切さ等について、「食」を通して、「親」と「子」がそれぞれの立場で考えるきっかけをいただき、日常生活を振り返りながらお聞きすることができました。

(1) 生徒の感想（抜粋）

- ・正直、最近、お弁当のおかずが少なくなっているような気がしていた。でも、今回の講演を聞いて、その問題は大したことではないと感じた。家族で鍋を囲むのが大好きな自分は、きっと、一人立ちする時に、食事が喉を通らないほど、泣いてしまうだろう。命と食に感謝して生きていきたい。
- ・私がここに居られるのは、命がけで母が私を産んでくれたおかげであり、毎日、仕事で疲れていながらも、ご飯を作ってくれる母の愛情に気付くことができた。

(2) 保護者の感想（抜粋）

- ・自分の母への感謝も心に込み上げてきた。家族で一緒にご飯を食べられる時間を今まで以上に大切にしたい。
- ・食につながる「生」の話を聞くことができ、妊娠、出産時の気持ちや子供に対する愛情を示すのが食事だということを改めて感じ、涙が出た。これから食事を通して息子に伝えていきたい。
- ・家族で囲む食卓の場を大切にし、たくさんの愛情を注いでいきたい。毎日のお弁当作りも頑張れると思わせてくれた講演だった。

家庭教育について、全校生徒と保護者が「食」という同じテーマの講演を聞くことができたことは、大変意義深いと感じています。子供たちにおいても「食」は身近なテーマだからこそ、心に響く機会になったと思っています。

4. おわりに

コロナ禍で制限を強いられていた学校活動も以前の活動を取り戻し、活気のある学校生活が戻ってきました。子どもたちが様々な生活の変化に対応しながらもかけがえのない学校生活を送れるよう、学校と協力しながらPTAとしてお手伝いできることを嬉しく思っています。

これからも『できる人が、できるときに、できることを』、まずは自分たちが楽しみながら、一緒に活動したいと思ってもらえるようなPTAとなるように努力したいと思っております。



家庭教育とPTA

埼玉県立上尾南高等学校

PTA会長 寺脇 章乃

1 学校概要

埼玉県立上尾南高等学校は全日制普通科の高等学校として昭和52年4月に開校し、本年度で48年目を迎えました。埼玉県中央部にある上尾市の南に位置し、校庭の南側はさいたま市西区との境界に接しています。大宮花の丘農林公苑、さいたま市西新井ふるさとの緑の景観地に隣接し、教室の窓からはたくさんの緑が見えます。

校訓は「誠実」、目指す学校像は「自分らしく未来に生きる力を育てる 一人一人が輝く学校」とし、これらのもと、様々な教育活動を実施しています。

生徒数は1学年240名定員で、通常6クラス規模の学校ですが、3年間7クラスでの運用を行うことで、少人数でのきめ細やかな指導を行っています。



春の校舎

運動部16部、文化部9部、同好会4団体と多くの部活動があり、生徒の加入率は70%を超えています。また、令和4年度からは埼玉県立上尾特別支援学校上尾南分校が校内に設置され、日本一のインクルーシブ教育を目指し、様々な行事を協力して実施しています。

生徒の進路は多様であり、約4割が4年制大学・短期大学への進学、約4割が専門学校への進学、他は就職等です。様々な生徒の進路希望に対応するために、「進学フェス」や「就職フェス」、「専門フェス」などのキャリア教育を実施しています。

開校当時の様子

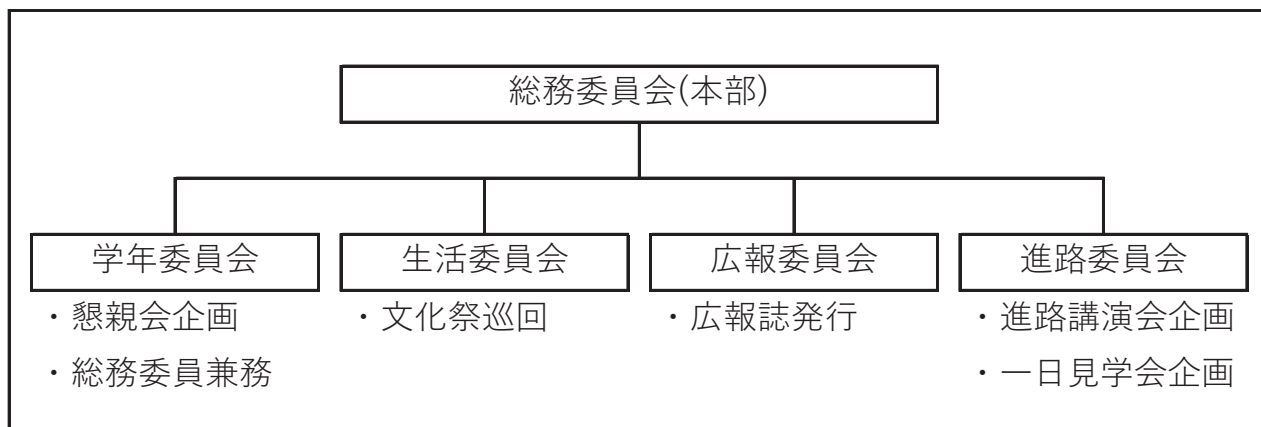


朝のSHR前の生徒の主体的な取り組みである「朝活」や、数学と英語における習熟度別少人数授業、同じ志を持った仲間同士で支え合い受験に臨む「進学クラス」の設置、総合的な探究の時間では「上南クエスト」や「上南ゼミ」などの社会と結びついたプログラムを実施することで、生徒は主体性を磨き、柔軟な思考力・判断力・表現力を育んでいきます。



授業の様子

2 P T A活動について



本校のP T Aは、下図のような組織から成り立っています。

本部である総務委員会は、年に7回の会議を実施しており、その中で各種P T A活動の企画と協議を行っています。総務委員会主催の活動も多数あり、例えば中学生向けの学校説明会の際に「保護者による相談コーナー」を設け中学生の保護者の相談に、在校生の保護者目線で回答しています。他にも会員同士の懇親会などの企画と運営も行っています。総務委員会の構成役員は学年委員全員と、生活・広報・進路の各委員会の委員長と副会長で、合計50名程度になります。

学年委員会は、1～3学年のそれぞれ7名ずつの委員で構成され、全委員が総務委員を兼ねるため、主に総務委員会での活動をメインとしています。それ以外にも、役員の懇親会の企画・運営を行っています。

生活委員会は、文化祭での校内巡回を行っています。コロナ以前は、朝、校門であいさつ運動を定期的に行っていましたが、現在は実施していません。

広報委員会は、年に1度、卒業式にP T A広報誌を発行しています。そのために、学校行事やP T A行事の撮影を行っています。



進路委員による一日進路見学会



P T A・後援会総会の様子

進路委員会は、上級学校への一日進路見学会

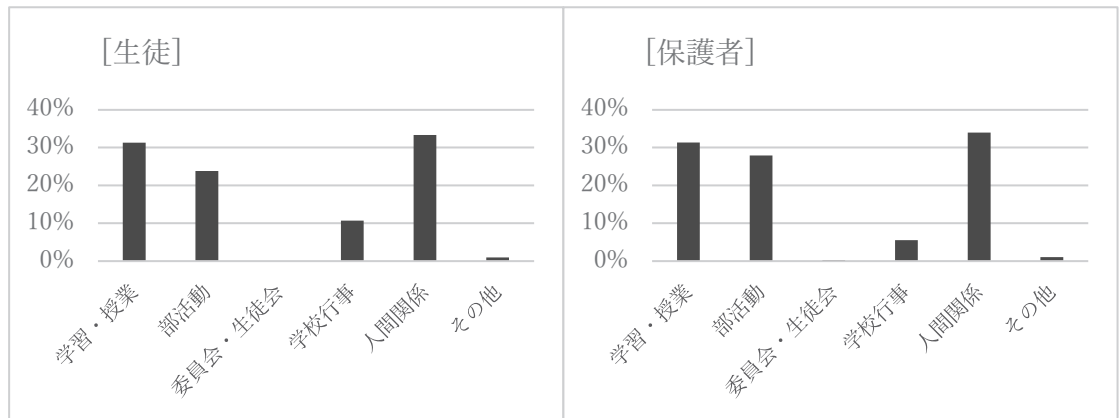
と、進路に関する講演会を企画・運営しています。いずれもP T A会員向けのものであり、どちらも多くの参加希望者がいます。

卒業式における、生徒に向けた祝い菓子や、コサージュなどの準備も、各委員会で協力して実施しています。

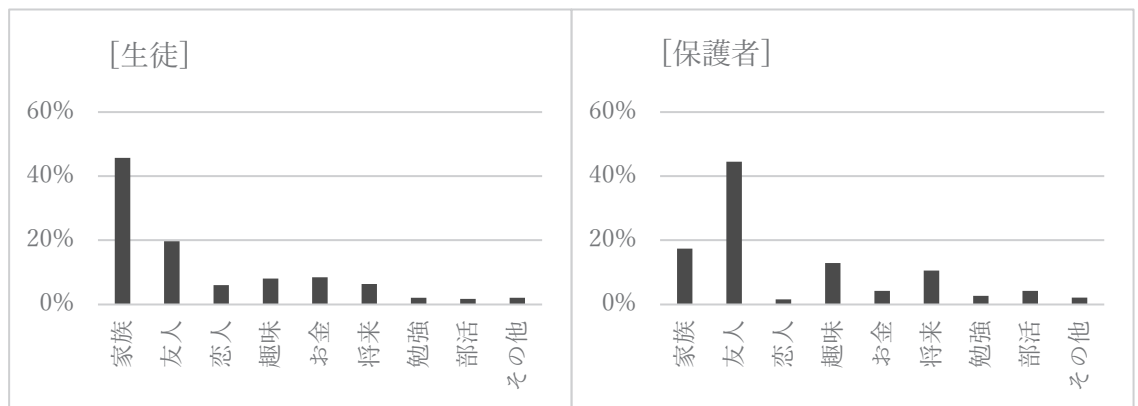
3 家庭教育とPTA

高校生になると、子どもたちは自立や独立の意識が強くなり、いよいよ親離れの準備を始めると思います。そういった中で、我々保護者が知っておきたいこと、知りたいけど聞けない事、他の家庭ではどんな様子なのか、などの素朴な疑問を基に、保護者と生徒それぞれにアンケートを実施しました。

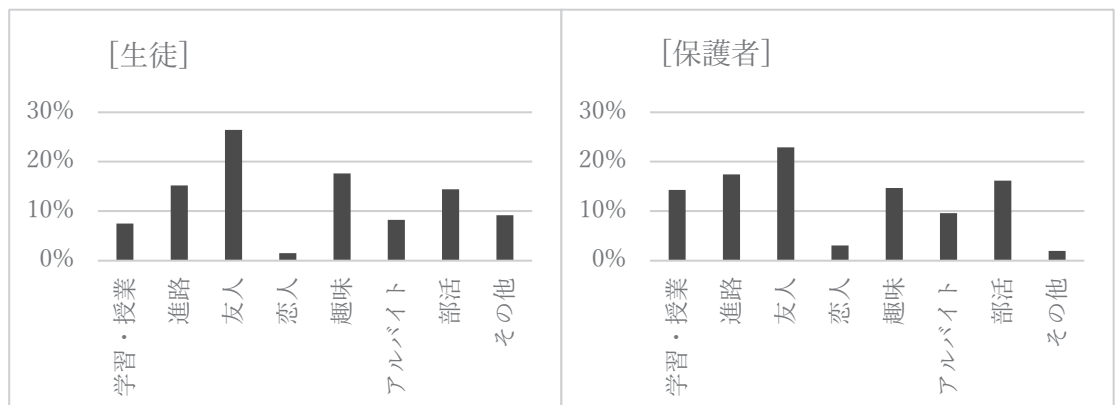
問1 生徒が学校生活で1番重要にしている事



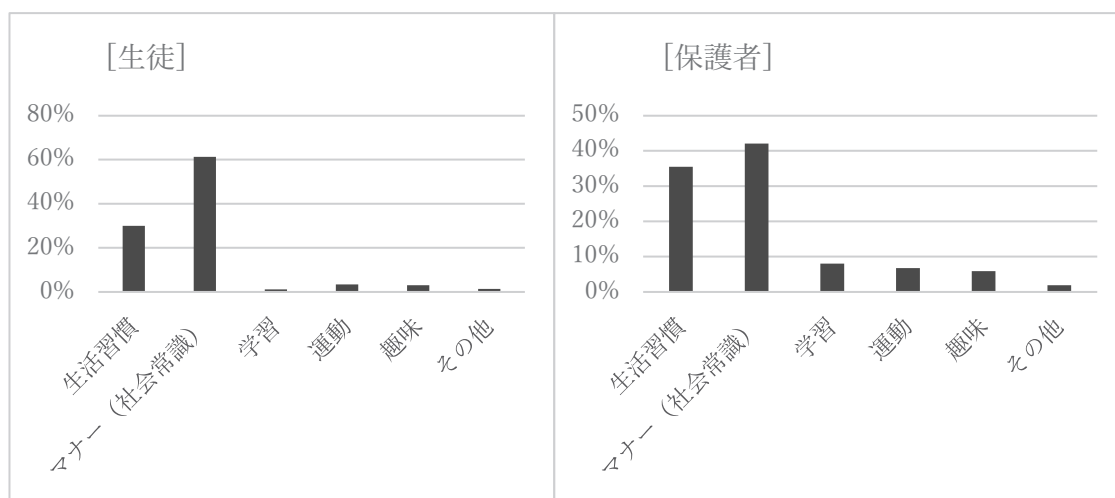
問2 生徒が今1番大切だと思う事



問3 家庭でどのような話をするか



問4 家庭で教わった（教えてきた）事



問1の「生徒が学校生活で1番重要にしている事」という質問に対しては、生徒・保護者ともに人間関係、学習・授業、部活動の順番に多数となりました。生徒と保護者の意識が共有できているようです。その中で1位になったのは、人間関係で、ともに友人付き合い等が気になっていることがわかりました。

問2では、生徒と保護者の意識のずれが現れた結果となりましたが、むしろ我々保護者からすると、喜べる結果となりました。「生徒が今1番大切だと思うもの」という質問に対し、保護者で多数を占めた回答は「友人」でした。ところが、生徒で多数だったのは「家族」でした。言葉では言い表すことが少ないかもしれませんが、子どもたちは親に感謝しているということでしょうか。

問3は「家庭でどのような話をするか」という質問に、友人が最多でした。次いで、趣味や進路などの回答も多かったです。家庭での会話をもっと増やしたいけれど、何を話せばいいか困った時に参考になるのではないのでしょうか。

問4は「家庭で教わった（教えてきた）事」という質問です。「マナー（社会常識）」と「生活習慣」が多数を占めました。保護者の皆さんが、子どもたちに伝えたい、身につけてもらいたいと思うことは、どの家庭でも同じようです。

4 最後に

今回のアンケートを通して、少しばかりですが子どもの普段考えていることや、他の家庭の状況を知ることができました。そして何より印象深かったのが、「生徒が今1番大切なもの」というアンケートに、多くの子どもたちが「家族」と回答したことです。現代社会は変化が激しく、また様々なところで多様化が進んでいると言われていますが、子どもたちにとって、家庭はいつもどんな時でも、居心地の良い場所にしてあげたいと思います。

家庭教育とPTA

提 案 者 埼玉県
所 属 校 埼玉県立鴻巣高等学校
役 職 PTA会長
氏 名 佐藤 ひさこ 寿子

発表テーマ

「鴻巣高校の家庭教育とPTA」

1 学校の沿革

本校は、大正7年に私立武陽中学として設立され、その後、旧武陽実業学校、旧鴻巣高等女学校の2校を統合し、組合立武陽高等学校として、昭和23年4月に認可されました。翌年の昭和24年3月に県立に移管し、埼玉県立鴻巣高等学校として、全日制・定時制とも普通科、商業科、農業科が設置されました。(昭和33年度から農業科募集停止)。

そして、鴻巣市大間(現在の校地)には、新校舎が完成した昭和37年4月に移転しています。その後、近隣の吹上秋桜高等学校の設置に伴い、本校の定時制課程は平成22年度から募集停止となり、平成25年3月31日に閉課程となりました。

それから歴史を重ね平成30年10月に創立100周年記念式典を挙行し、併せて制服はリニューアルされました。本年度(令和6年度)、創立106周年目となる伝統校です。



写真1 HR棟校舎

2 学校の特徴

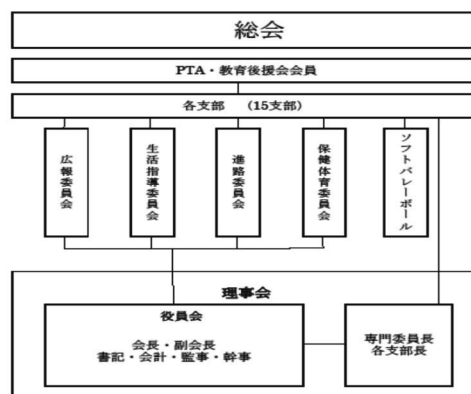
校訓は、「誠実」です。目指す学校像として、「確かな学力と人間力を育成し、地域の期待に応える学校」を掲げ、教育活動を行っています。

普通科5クラス、商業科2クラスの併置校で、卒業後は多くの生徒が進学をします。昨年度の進

学率は約90%、就職者は公務員のほか、大手企業から内定をいただいています。

3 PTA組織

PTAは地区ごとに分かれた15の支部があり、各支部から委員会役員を選出しています。下図のような組織編成となっています。現在、全家庭の方にPTA組織に加入をしていただいております。



4 PTA活動

(1) 入学式

入学式後の保護者会で、各支部(15支部)に分かれて、PTA活動の説明と役員を選出を行います。本校の特色として、1年生役員の方は、2年生から本格的に役員業務に加わります。



写真2 入学式

（２）総会・理事会・役員会

各支部より選出された役員で、本部役員会を担います。総会に向けて理事会を行い、支部総会と全校での総会を開催します。

P T A総会の慣れない準備や進行は、とても大変でしたが、無事すべての議題が承認されました。本年度は、対面での開催となり、詳細なところまで、検討することができました。顔を見合わせて話し合うことが大切だと実感しました。

総会後は、役員会や委員会の仕事で、学校に行くことが増えます。先生方とも話をする機会があり、子どもの学校での様子を知ることができます。また、他の役員の方と子育ての状況を話すことや、学年を超えた交流で、進路の情報を得たりすることもできます。



写真3 P T A総会

（３）文化祭

一般公開日にバザーを実施します。三者面談時にバザー品を持ち寄り、一般公開の前日に値付けや教室の装飾など準備を行います。

今年度も多くの方に購入いただき、収益金は生徒会収入に繰り入れ、学校行事等で使用をしています。



写真4 P T Aバザーのポスター



写真5 P T Aバザー

（４）体育祭

役員を中心としたメンバーで、種目の「綱引き」に参加するのが、恒例となっています。

子ども達からの熱い声援を受けて、とても楽しく、童心に帰ることもできます。スポーツをとおしての活動は、一体感を得ることができます。



写真6 P T A参加の綱引き

（５）広報委員会

1学期末、3学期末の年2回、学校行事等を取材して、「P T A通信」を発行しています。取材と編集作業はとても時間を要し、ほかの委員会よりは、集まることが多くなりますが、取材の機会には、子ども達から話を聞くことができたり、学校生活の実際を間近で見ることができます。

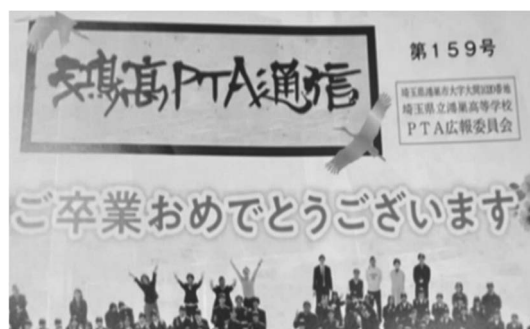


写真7 P T A広報誌（年2回発行）

（6）生活指導委員会、保健体育委員会

体育祭や文化祭時の校内巡回や、マラソン大会の生徒給水を行います。そのほかに、鴻巣市の地域活動として、市内巡回活動や「青少年市民のつどい」にも参加協力をしています。



写真8 マラソン大会の給水

（7）進路委員会

年1回、委員会が中心となって、進路見学会を実施しています。コロナ禍以降、見学会は中止となっており、昨年度は、外部講師による講演会を実施しました。保護者として、「どう子どもの進路に向き合えばよいのか、どのような支援を行えばよいのか」を知ることができました。

また、当日の様子をオンライン配信することによって、手軽に参加できて参加者が増加するように工夫しました。

（8）学校評議員会・学校評価懇話会

P T A会長が保護者代表として、参加しています。学校から教育活動の状況や改善点、年間目標やその進捗状況の説明を受け、保護者の立場から、質問や意見を述べる機会となっています。

（9）卒業式

P T A役員が保護者を代表して、お世話になった担任の先生方等へ感謝の気持ちを伝え、また、花束を贈っています。



写真9 卒業式

（10）5校交流会

本校と近隣の鴻巣女子高校、吹上秋桜高校、進修館高校、北本高校で集まり、交流会を実施しています。

コロナ以前は、ソフトバレーボール大会を行っていましたが、コロナ禍により中止、令和2年度からは幹事校が中心となり、今後の交流の在り方を話し合いました。そして、令和4年度からは、各校のP T A活動の情報交換を行なう機会として実施しています。

（11）本校のP T A活動の課題

- ・役員選出に苦勞している。
 - ・役員が集まって会議等を行うことが難しい。
- 主にこの2点が挙げられます。

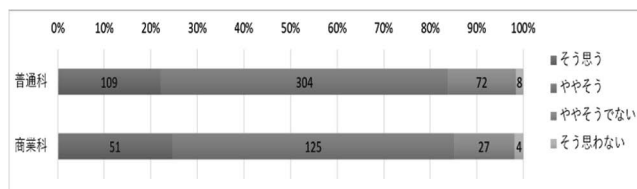
現在、その対応策として、役員の負担軽減を考えると、また、保護者の方々も参加しやすい方法を検討しながら、P T A活動を行っています。

これまでのP T A行事を一つ一つ見直し、工夫したやり方を模索しながら、継続していきたいと考えています。また、行事ごとに出された意見を総括して、次年度以降、よりよくなるように意識をしています。

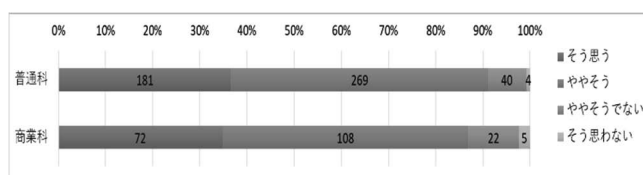
5 家庭教育とP T A

家庭が子どもの学校生活を支える立場として、どうあるべきかを考えるにあたり、保護者を対象とした学校評価アンケート結果を紹介します。

① 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられる授業が行われている。



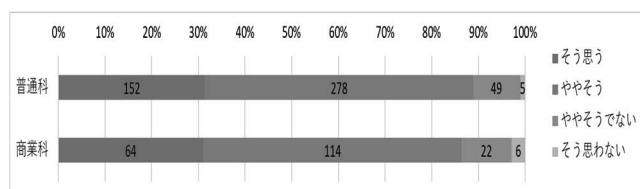
② 適切な進路指導が行われている。



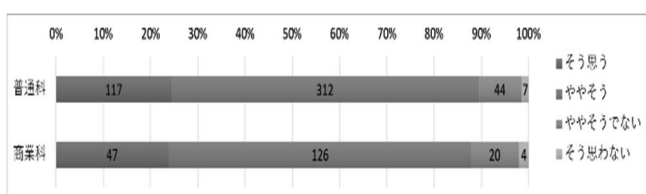
①と②のアンケート結果では、そう思う、ややそう思うが全体の80～90%となっています。

学校の教育活動の中心である、授業や進路指導について肯定的な意見が多い結果となっています。

③ 学校が必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。



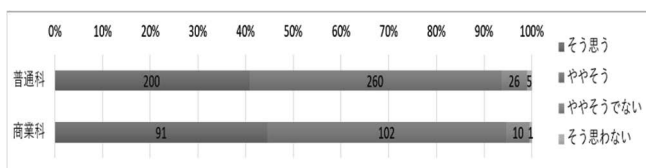
④ P T A・教育後援会と学校が適切に連携している



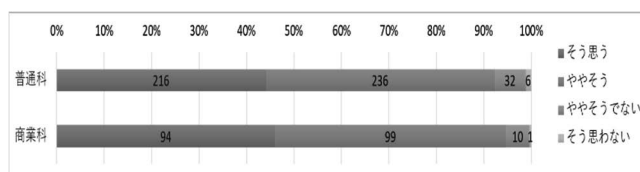
③と④のアンケート結果では、両方とも、そう思う、ややそう思うが全体の85%以上となっています。

保護者の立場としては、困ったときに担任の先生等に気軽に相談できるのは、非常にありがたいです。家庭と学校がよく連絡を取り合うことで信頼関係を築くことは、子どもの成長に欠かせないことだと思います。また、P T Aと教育後援会の学校との連携も良好であり、協力体制で学校の教育活動を盛り上げていこうとしていることが分かります。

⑤ 学校生活を通じて子どもは成長している。



⑥ 子どもの学校生活は充実している。



⑤と⑥のアンケート結果では、保護者から見る子どもの成長と学校生活の満足度は、90%以上となっています。

以上のアンケート結果から、学校が行う様々な教育活動について肯定的に考える保護者が多いことが分かります。

役員の仕事や行事参加で学校を訪れて、子どもたちの様子を見てみると、とても楽しそうで充実しているように感じる場面によく出会います。

私たちP T Aの活動も学校生活充実のために役だっていればよいと思います。



P T Aポロシャツ
デザインロゴ

6 おわりに

鴻巣高校は、創立から100年を超える歴史のある伝統校です。

最近はP T Aの存続が危ぶまれている、という話題を、色々なところで聞きます。

鴻巣高校のP T Aとしては、これまでの伝統を守りながら、現在に合うやり方を手探りで模索し、活動を継続していきたいと考えています。

役員を増やす取り組みの一つとして、P T Aの活動を知っていただくように、学校HPを使って動画配信を行っています。

これからも「100年の想いを継ぎ未来を拓く」の言葉のもと、生徒一人一人が新しい道を切り拓くための力添えができるようにP T A、教育後援会、学校が一体となり、楽しく活動していきたいと思っております。



埼玉県高等学校PTA連合会 事務局より

1 ハイスクール24還元事業について

令和5年度から、生徒の安全確保を推進するため、埼玉県高等学校PTA連合会が団体加入する「ハイスクール24」による収益の一部を加盟校に還元する「AED設置推進校事業」を始めました。本年度も多数のご応募いただき、誠にありがとうございました。

ハイスクール24の加入状況等により推進校10校選考し、決定した学校に11月15日までに連絡します。

2 「合格者書類」と「PTA関係書類」の区別化について

(1)「安全振興会」「全国高P連 賠償補償(学校一括加入)」「全国高P連 ハイスクール24(会員任意加入)」の3つの補償制度は、いずれもPTA加入者が補償対象となっている制度です。そのため、合格者書類に同封すると、「入学者全員が対象となる補償」との誤解が生じる恐れがあります。

(2)対策として、「合格者書類」と「PTA関係書類」の区別化についてご検討ください。「合格書類封筒」とは別に「PTA関係書類封筒」を作成し、PTA関係としてお伝えするべき以下の4点を同封します。

- 「PTA会長あいさつ(例)」(第2回理事会報告で配付済)(鑑文)
- 「安全振興会の案内」
- 「全国高P連 賠償補償の案内」
- 「全国高P連 ハイスクール24の案内」

3 PTAに加入しない保護者さまへの対応について

「安全振興会の補償制度」「全国高P連の賠償補償制度」「全国高P連のハイスクール24」はPTA会員を対象とする制度のため、PTA未加入の方は、これらの制度には加入ができないこと、補償対象外であることを明確に伝えてください。